

平成 26 年度採材協議会を開催

平成 26 年 7 月 4 日、当盛岡森林管理署と岩手北部森林管理署の共催により、平成 26 年度採材協議会を雫石町内の素材生産現場で開催しました。国有林側からは、両署のほか青森事務所から担当者が出席し、素材生産を担う業界側からは 9 事業体が参加しました。



盛岡署担当官による説明

冒頭、盛岡署長から、素材生産の進行管理、誤伐防止、安全作業の徹底、そして今回の協議会のテーマである 4 m 材比率向上等の重要性について理解を求めました。

その後、岩手県森林組合連合会の米澤氏より、最近の木材市況について説明を受け、続いて盛岡、岩手北部両署の担当官がそれぞれの署における採材方法や長級別の販売単価の実績について具体的に説明を行いました。

午後からは、盛岡署次長の進行の下でグループに分かれ、4 m 材が採材可能か検討を行いました。全員真剣な面持ちで検討に参加し、それぞれの採材の考え方を説明し合ったあと、実際に造材し、採材の適否を検証しました。

曲がりの見立てなど技術的な難しさはあるものの、有利採材の重要性については十分理解が得られたのではないかと思います。



4 m の採材が可能か検討中

なお、最後に、作業道の作設から伐倒、玉切りまでをこなすことができる最新式のアタッチメントを搭載した重機の実演を見学し、採材協議会を終了しました。



ザウルス・ロボ

(雫石地区国有林材生産協同組合所有)